



国民春闘共闘

2026 年度 第 2 号
2025 年 11 月 7 日

国民春闘共闘委員会
〒113-8462 東京都文京区湯島 2-4-4 全労連会館
☎ 03-5842-5621 FAX 03-5842-5622

25 年・第 1 回年末一時金集計

単純平均 1.98 カ月 592,157 円

国民春闘共闘委員会（全労連、純中立労組懇、地方共闘などで構成）は 11 月 6 日、2025 年第 1 回目の年末一時金集計を行いました。

<回答状況>

	2025 年	2024 年同期
回答引き出し組合	400	417
うち 妥結組合	127(31.8%)	145(34.8%)

<要求と回答内容>

集計方法&対象		2025 年回答	24 年同期	同期比	24 年最終
単純平均	月数	1.98	1.96	+0.02	2.02
	額(円)	592,157	590,865	+1,292	605,184
加重平均	額(円)	573,567	570,743	+2,824	624,117
	組合員数	58,002	62,425		154,226

<前年実績との比較が可能な組合における金額・率の比較>

		組合数	前年実績以上	前年実績超	25 年回答	24 年実績	実績比
単純平均	月数	335	230(68.7%)	82(24.5%)	1.98	2.00	-0.02
	金額	261	152(58.2%)	130(49.8%)	598,567	601,037	-2,470

<非正規の仲間の回答状況>

		時給制	月給制	再雇用・時給制	再雇用・月給制
単純平均	月数	0.730	1.379	0.888	1.335
	前年同期	0.775	1.393	0.681	1.047
	前年最終	0.851	1.314	0.587	1.097
	額(円)	89,219	329,152	175,552	409,485
	前年同期	88,007	316,706	182,248	238,457
	前年最終	76,034	283,766	183,470	202,728

※額または率のみの報告があるため、双方は連動しません。

※言葉による回答は平均などの計算から除いています。

<集計結果の概要>

回答引き出し・妥結状況

11月6日に実施した2025年の年末一時金第1回集計には、別表の19単産・部会から報告が寄せられました（前年同期2024年11月7日：17単産・部会）。

回答引出し組合は1522組合のうち26.3%にあたる400組合で、前年同期417組合（27.6%）を1.3割下回っています。

春闘・夏季闘争での交渉も含めて、回答引出し400組合のうち127組合（31.8%）が妥結・収拾方向となっています。前年同期の145組合（34.8%）と比較して3割下回っています。

回答内容

回答月数が判明している359組合での単純平均（一組合あたりの平均）は、1.98ヵ月で、前年同期比プラス0.02ヵ月となっていますが、前年最終集計（2024年12月12日）との比較では0.04ヵ月のマイナスとなっています。

金額回答のあった276組合での単純平均額は592,157円で前年同期比プラス1,292円、加重平均額（組合員一人あたりの平均）は573,567円と前年同期比プラス2,824円となりました。

前年実績比較可能な組合を見ると、月数では335組合の単純平均で今期は1.98ヵ月と前年実績2.00ヵ月を0.02ヵ月下回っています。このうち前年実績同月数が148組合（44.2%）で、前年実績を上回ったのは82組合（24.5%）にとどまっています。

金額では261組合の単純平均で今期は598,567円と前年実績601,037円を2,470円下回っています。前年実績額を超える金額を獲得したのは130組合（49.8%）となっています。

全体としては前年同期並みにとどまっており、物価高騰が続き生活の厳しさが増す中で、実質賃金を引き上げる水準とはなっていません。

医療で単純平均1.62ヵ月・435,521円、社会福祉・介護では1.82ヵ月・456,548円とケア職場で低水準となっています。春闘で一定の賃上げを勝ち取った製造で前年実績を40万円以上下回る回答を押し付けられる組合が出るなど前年実績を10万円以上下回った21組合のうち15組合が製造となっている一方で、100万円以上の回答を引き出した19組合のうち11組合が製造となるなど、産業内でも回答額のバラツキが大きくなっています。

そうした中、納得のいかない回答にストライキで抗議するなど、多くの組合が上積み回答を求めてたたかいを継続しています。

パートやアルバイトなど非正規雇用で働く仲間の一時金

非正規雇用で働く仲間の一時金は、別表の3単産69組合から獲得報告が寄せられています。

このうち、パート、アルバイトなど時給制労働者の一時金獲得は78件となっています。月数報告のあった66件での単純平均は0.730ヵ月で、金額では20件の単純平均で89,219円となっており、前年同期0.775ヵ月（78件）、88,007円（20件）とほぼ同水準です。

臨時、契約などの月給制労働者では40件の獲得報告となっています。単純平均月数は36件平均で1.379ヵ月、金額では15件平均で329,152円となっています。

継続雇用者では、時給制労働者は生協労連での5件の獲得で、単純平均0.888ヵ月（4件）、175,552円（3件）。月給制継続雇用は8件獲得で、単純平均1.335ヵ月（6件）、409,485円（5件）となっています。生協労連の組合では2.30ヵ月・576,561円の回答を引き出しています。